uchie
おもいやりをかたちに

ウチエのシャワー車椅子

ハイベル

品番：HB300

ご使用のしおり

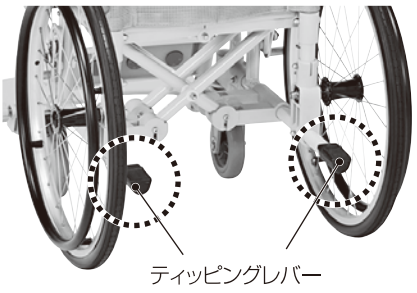
最大使用者体重
100kg 以下

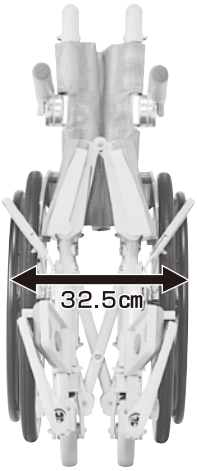
このたびは、弊社の『ハイベル』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・本書は必ず保管しておいてください。
・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
・お買い上げのシャワー車椅子は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

ティッピングレバー

レバーを踏んで前輪を上げ、段差を越えることができます。





※別売品でシートベルト(フリータイプ)がございます。詳しくはカタログをご覧いただくか、販売店、または弊社までご連絡ください。

仕 様

材　質	·本体/アルミニウム合金、ステンレス、合成樹脂成形品　·グリップ/PVC　·座シート/EVA ·背シート/ナイロンメッシュ　·サイドガード/PP　·クッション(肘掛け)/合成ゴム、PVC ·フットレストパイプ/ステンレス　·レッグシート/EVA　·レッグサポート/PA ·キャスター/天然ゴム　·駆動輪/PU(発泡)　·ハンドリム/アルミ
重　量	約15 kg
車　輪	キャスター/6インチ　·駆動輪/20インチ

サイズ

単位：cm

幅	57（32.5）	前座高	43
奥行	96（94.5）	後座高	41
高さ	83（83）	背シート高	30.5
座幅(肘～肘)	40.5	前座から足台	40.5
シート奥行	38	奥行(フットレスト無し)	69
肘から前座	24.5		

※（　）は折りたたみ時

付属品

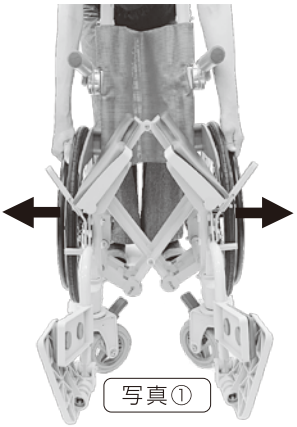
·ご使用のしおり（本書）

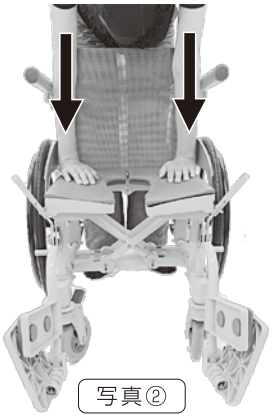
ご使用にあたって

·室内専用です。屋外では使用しないでください。
·シャワー浴用に設計されています。浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。腐食による破損、けがの原因となります。
·硫黄系の入浴剤や温泉をかけての使用はしないでください。温泉の泉質によっては塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となります。
·入浴剤入りのお湯をかけると、車輪の回転などの動きが悪くなる可能性があります。
·強い衝撃を与えると、塗装がはがれますのでご注意ください。
·お肌の敏感な方は、背シートの上にタオルなどを敷いてご使用ください。
·使用前に点検を実施し、異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

開き方

※駐車用ブレーキを掛けてから操作してください。
1.車椅子の後ろからハンドリムをもって左右に開きます。(写真①)
2.片側の駆動輪を少し浮かせながら反対側(浮かせていない側)の座面を手でゆっくり押して開きます。(写真②)
座面が最後まで開ききったことを確認してください。


写真①


写真②

⚠注意

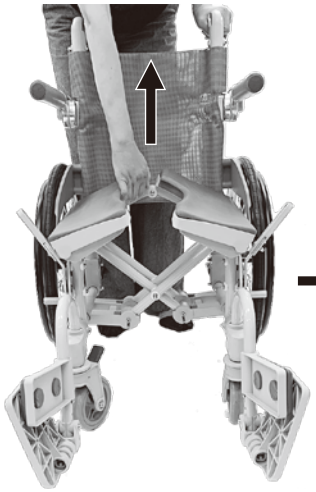
※座面裏下の可動部などに手や指を入れないでください。手や指をはさんでけがをするおそがあります。
※平坦な場所で作業を行ってください。不意に本体が動くおそれがあります。

折りたたみの仕方

※駐車用ブレーキを掛けてから操作してください。

1.フットプレートを両側ともはね上げ、後方に回転させます。(写真①)
レッグサポートもフットプレートの方へ回転してください。
2.座面中央の穴からシートを持ち上げます。(写真②)
3.両側のハンドリムを持ち、内側に寄せて折りたたみます。(写真③)

写真①

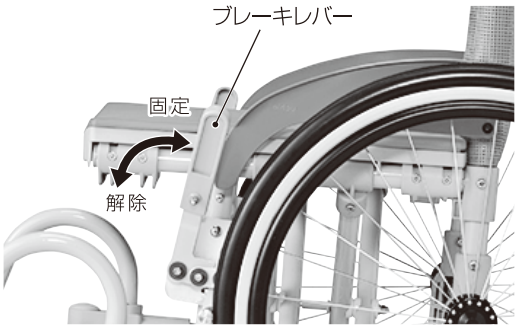

写真②

写真③

⚠注意

※手指をはさまないよう十分注意をして行ってください。
※平坦な場所で作業を行ってください。不意に本体が動くおそれがあります。

駐車用ブレーキの掛け方・戻し方



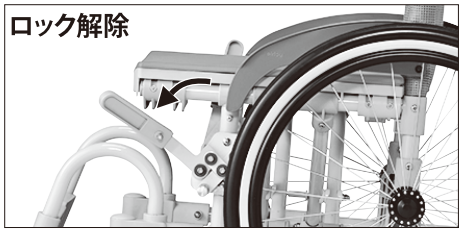
·ブレーキレバーを後方(駆動輪側)に倒すと駆動輪がロック(固定)します。
·ブレーキレバーを前方(キャスター側)に倒すとロックが解除します。

⚠注意

※駐車用ブレーキは必ず両側ともしっかり掛けてください。片側のみだと動きます。
※介助者が車椅子より離れる場合は、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。
※移乗、停車、入浴する際は必ず駐車用ブレーキを掛けてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
※駐車用ブレーキを掛けていても本体に強い力が加わったり、駆動輪と床との相性で本体が動く場合がありますので注意してください。
※傾斜のある場所で駐車しないでください。動くおそれがあります。
※ブレーキレバーを強い力で操作しないでください。レバーやブレーキ部品が破損するおそれがあります。
※ブレーキレバーを可動方向以外に操作しないでください。破損するおそれがあります。
※駐車用ブレーキの利き具合が悪い場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

駐車用ブレーキ

ロック解除

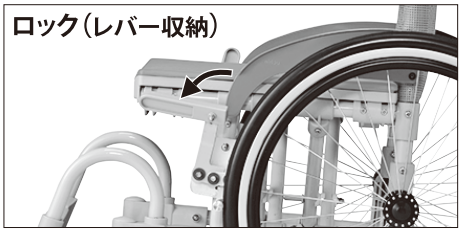


ロックレバーを前方に押すだけでロックが解除されます。

ロック

ロックレバーを後方に引くだけでロックが掛かります。

ロック(レバー収納)



ロックした後、レバーを上に引っ張り、前に倒すと向きが変えられるので、横移乗の邪魔になりません。

アームレストの取り扱い方

アームレストは左右ともはね上げ式になっております。

⚠注意

※はね上げたアームレストを押したり、力を掛けないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
※乗車中は必ずアームレストを下ろして使用してください。
※アームレストを持って本体を持ち上げないでください。不意にアームレストがはね上がり、けがをするおそれがあります。
※アームレストに腰掛けないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

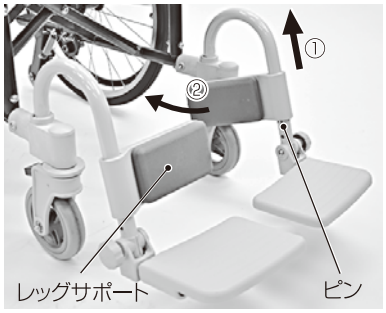
レッグサポートの可動

レッグサポートは、上げて後方、外側に回転させる事ができます。さらにフットプレートもはね上げると、移乗の際に邪魔になりません。

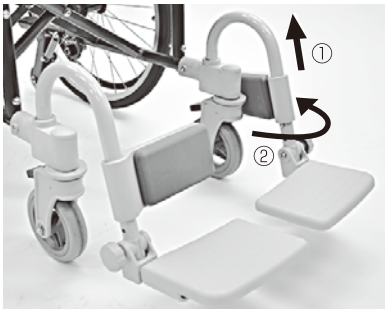
⚠注意

※レッグサポートを可動する場合は、必ずピンよりレッグサポートを上げて後方に回転させてください。無理に回転させると、破損、故障するおそれがあります。
※本体を動かす場合は、必ずレッグサポートを戻してください。
レッグサポートが後方に回転したまま動かすと、前輪に干渉し、破損、故障するおそれがあります。

レッグサポートが後方へ回転



レッグサポートが外側へ回転



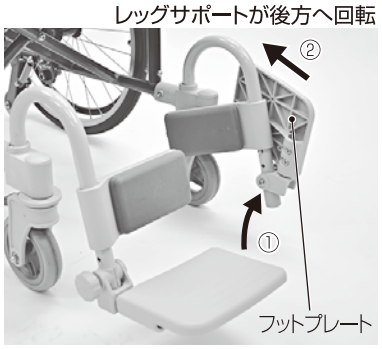
フットプレートのはね上げ

フットプレートは横にはね上げ、後方に回転させることができます。さらにレッグサポートも上げて後方に回転させると、移乗の際に邪魔になりません。

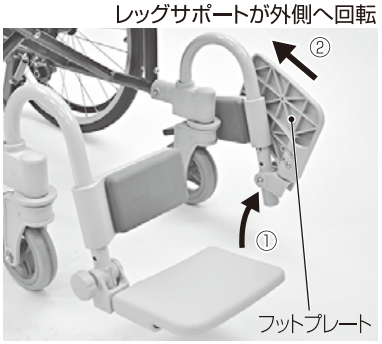
⚠注意

※乗り降りされる際は、必ず両側のフットプレートをはね上げてください。
※フットプレートの上に乗って乗り降りしないでください。転倒、破損の原因となります。
※車椅子に乗られた際や走行中は、必ずフットプレートに足を乗せてください。

レッグサポートが後方へ回転



レッグサポートが外側へ回転



レッグシートの取り外し、取り付け方

·レッグシートの裏側からシートを押して取り外します。
·取り付ける際はシート裏面の凸部をレッグサポートの穴に合わせ、上からしっかり押して取り付けます。

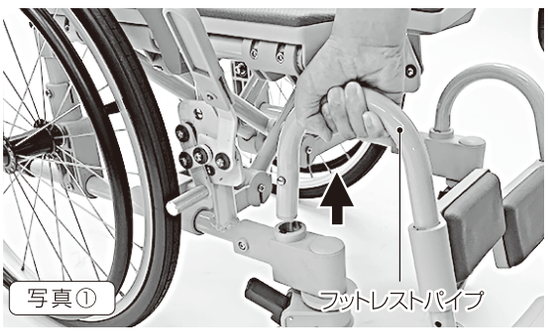
⚠注意

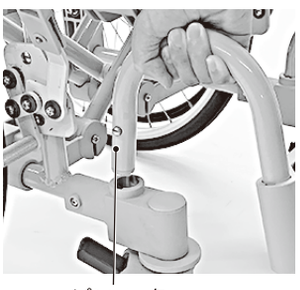
※頻繁に取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
※取り外す際は、必ず裏側からシートを押して取り外してください。
※シートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。裂ける場合があります。
※シートがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
※シートは消耗品です。汚れたり破損した場合はお買い求めの上交換してください。

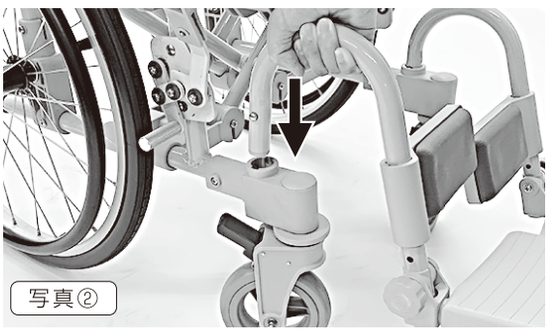
フットレストパイプの取り扱い方

フットレストパイプは取り外し可能です。ご利用に合わせて着脱してください。

●取り外し方…フットレストパイプをまっすぐ上に引き上げます。(写真①)
●取り付け方…フットレストパイプを、パイプ穴にピンロックと穴が合う位置で最後まで差し込みます。(写真②)



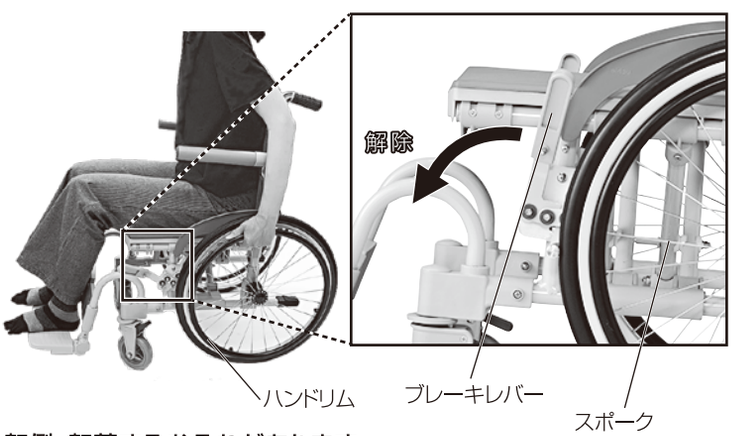




⚠注意 **※フットレストパイプはロックがかかっていないので、持ち上げるだけで簡単に外れます。本体を持ち上げる際に、フットレストパイプを持たないでください。**

駆動輪の操作(自走)の仕方

1.駐車用ブレーキを解除します。
2.使用者がハンドリムを握り、車輪を回転させ移動します。



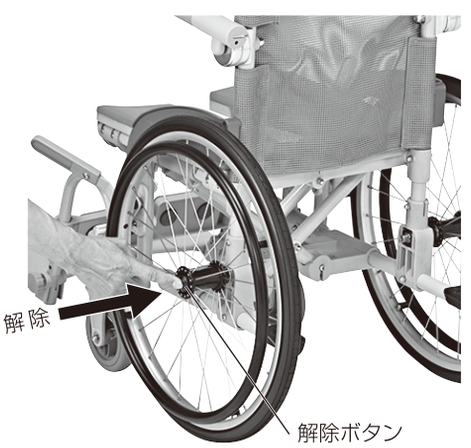
⚠注意

※タイヤを持って車椅子を操作しないでください。手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。
※駆動輪が回転している際に、スポークに手や指を入れないでください。はさんでけがをするおそれがあります。
※速度が出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。手や指をはさんだり、摩擦でけがをするおそれがあります。
※走行中に身体を乗り出さないでください。バランスを崩し、転倒、転落するおそれがあります。

駆動輪の取り扱い方

駆動輪は取り外し可能です。持ち運びや収納時に便利です。

・車軸の解除ボタンを押すとロックが解除され、駆動輪を本体から外すことができます。
・ 取り付ける際は車軸の解除ボタンを押しながら本体に取り付けます。
駆動輪をセットしたら、車軸の解除ボタンから手を離すだけでロックされます。



⚠注意 **※ご使用時には左右の駆動輪がロックされているか確認してから使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。**
※車軸の解除ボタンを押さずに、無理に取り外そうとしないでください。破損するおそれがあります。

お手入れの方法

・ご使用後は石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジや布で拭き、その後やわらかい布などで乾拭きしてください。
・ご使用後は乾いた布で水分を拭き取るか、日陰の通気性の良い場所で乾かすなど、水分を残さないでください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。また、使用時に滑ってけがをするおそれがあります。
・車輪がきしむ際は、速乾性のある潤滑油を少量注油してください。むやみに注油されますとほこりや髪の毛等が付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。
・座シートや背シート、サイドガード、クッション(アームレスト)、グリップ、キャスターや駆動輪などは消耗品です。汚れたり破損した場合はお早めに交換してください。

⚠注意 **※ご使用後は必ず乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。**
※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、アルコール、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
※熱湯をかけたり、オゾン洗浄・消毒はしないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。
※アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

点検の実施

● 安心、安全にお使いいただくため、使用前に点検を実施してください。

点検項目	対　処
フレームにひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか?	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
キャスターや駆動輪にひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか?	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
キャスターや駆動輪が摩耗していませんか?	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
走行操作はラクにできますか?	キャスター、駆動輪に髪の毛などが巻きついている場合は、取り除いてください。
駐車用ブレーキが両側ともしっかりかかりますか?	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
背シートや座シートに汚れ、傷、破損などはありませんか?	汚れ、傷、破損などがある場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。
アームレストのはね上げはラクにできますか?	はね上げがしにくいなどの異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
クッション(アームレスト)にキズや汚れはありませんか?	損傷が激しい場合はお買い求めの上、交換してください。
フットプレートにひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか?	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
ねじはゆるんでいませんか?	ゆるんだねじを締めてください。ねじが締まらないなど異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
折りたたみはラクにできますか?	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠注意　※車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠ 安全上の注意事項

使用上のご注意　安全のため必ずお守りください

● 本製品は介助が必要な方を対象にした商品です。
● 本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
● 本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。
● 本製品を浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
● 温泉水や硫黄系の入浴剤をかけての使用はしないでください。塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがをするおそれがあります。
● 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損、事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
● 10cmを超える段差では使用しないでください。
● 勢いをつけて段差を乗り越えないでください。破損したり、使用者が車椅子から転倒、転落し、けがをするおそれがあります。
● 段差を乗り越える際に、キャスターがまっすぐになっていることを確認してください。ななめや横になった状態で乗り越えると、キャスターの破損や事故の原因となるおそれがあり、大変危険です。
● 使用者が車椅子に乗っている状態で車椅子を持ち上げないでください。パイプが破損したり、使用者が転倒、転落、けがをするおそれがあります。
● 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
・戸外　・雨に濡れるようなところ　・直射日光のあたる場所　・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
・潮風の当たるところ　・ストーブなど火気の近く　・高温多湿、低温な場所　・風通しの悪い場所
● 車椅子を開く際は座面裏や下の可動部に手や指を入れないでください。はさんでけがをするおそれがあります。
● 車いすを開いた際は、座面が最後まで開ききったことを確認してください。
● Pタイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
● 駐車用ブレーキは必ず両側ともしっかり掛けてください。片側だけだと動きます。
● 駐車用ブレーキを掛けると駆動輪がしっかり固定されるか確認してください。ブレーキの利きが悪いと不意に動き、大変危険です。

⚠ 安全上の注意事項

使用上のご注意　安全のため必ずお守りください

- 駐車用ブレーキを掛けていても本体に強い力が加わったり、駆動輪と床との相性で本体が動く場合がありますので注意してください。
- 移乗、停車、入浴する際は、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- グリップ、ハンドリム以外を持って車椅子を操作しないでください。　手や指をはさんでけがをするおそれがあります。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。手にけがをするおそれがあります。
- 駆動輪が回転している際は、スポークに手や指を入れないでください。けがをするおそれがあります。
- 駆動輪やハンドリムなどのすきまに手や指を入れないでください。　はさんでけがをするおそれがあります。
- 足こぎで使用する際は足元に十分注意してください。キャスターが足にあたりケガや転倒するおそれがあります。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、駐車用ブレーキを掛けても本体が動く場合があります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- 本体を持ち上げる際に、グリップ、アームレスト、ブレーキレバー、フットレストパイプ、レッグサポートなどを持たないでください。
- アームレストを持って車椅子を持ち上げないでください。不意にアームレストがはね上がり、けがをするおそれがあります。
- 持ち運ぶ際はベースフレーム以外を持たないでください。破損のおそれがあります。
- グリップやアームレスト、フットプレート、ブレーキレバーなどに重いものを引っ掛けないでください。破損、転倒するおそれがあります。
- EVA座シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 乗り降りされる際は次のことに注意してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
  - ・必ず駐車用ブレーキを掛け、座シートの位置をたしかめてお座りください。
  - ・座面の前縁部に荷重を掛けたり、座らないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
  - ・アームレストを内側や外側にねじると不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをするおそれがあります。
  - ・必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上にのって乗り降りしないでください。
  - ・平坦な場所で行ってください。傾斜のある場所では乗り降りしないでください。
  - ・勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
  - ・介助者が使用者をしっかり支えてください。
- フットプレートの上に立たないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 傾斜のある場所では駐車しないでください。駐車用ブレーキを掛けても動く場合があります。
- ブレーキレバーを必要以上な力で操作したり、無理やり操作しないでください。ブレーキ部品が変形、破損するおそれがあります。
- 車椅子に乗った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けないでください。また、走行中に身体を乗り出さないでください。転倒するおそれがあります。
- 走行中はフットプレートに足を必ず乗せてください。けがをするおそれがあります。
- 急に止まらないでください。使用者が転倒、転落し、けがをするおそれがあります。
- ななめや他方向から押さないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 片側だけに無理な荷重を掛けないでください。破損、転倒、けがのおそれがあります。
- アームレストをはね上げて横移乗した後等の使用時には、必ずアームレストを水平に戻してください。はね上げたまま使用すると、本体から転落、けがをするおそれがあります。
- 背シートや座シートは、交換の時以外は取り外さないでください。
- サイドガードはしっかり固定してください。サイドガードが外れるとサイドガードや衣服が車輪に巻き込まれるおそれがあります。
- シート以外に腰掛けたり、座シートの前縁部に腰掛けないでください。破損や転倒してけがをするおそれがあります。
- 駐車用ブレーキを掛けたまま押さないでください。破損、故障するおそれがあります。
- 車椅子に乗っている際に身体を強く緊張、または硬直されますと、車椅子に後ろ向きの力が加わり、車椅子ごと後方や横に転倒するおそれがあります。介護される方は車椅子にお乗りの方の状態を常に見届けてください。また、座位保持が難しい方のご使用はご遠慮ください。
- 車椅子に乗った状態で前かがみになったり、車椅子に乗った状態でフットプレートに足を乗せて前かがみになるなど、車椅子前方のみに体重を掛けないでください。駆動輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒し、けがをするおそれがあります。前輪が後ろ向きの場合は特に注意してください。
- 本書に記載されている箇所以外の調整をしないでください。変形や破損、事故の原因となります。
- 人以外の運搬に使用したり、踏み台の代わりにして座シートの上に立つなど、本来の用途以外で使用しないでください。けがや故障の原因となります。
- ボルトやねじがゆるんでいる場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。本体が壊れてけがをするおそれがあります。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前や定期的に点検を実施してください。車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

商品廃棄方法　各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチエ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所　〒660-0805　兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29　TEL (06) 6482-0230　FAX (06) 6401-6372
関東営業所　〒271-0087　千葉県松戸市三矢小台4-12-3　TEL (047) 362-0311　FAX (047) 362-0312
福岡営業所　〒819-1107　福岡県糸島市波多江駅北4-6-5　TEL (092) 323-4331　FAX (092) 323-4332

兵庫工場　〒673-1334　兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合もございます。予めご了承ください。

22.08.Ⅱ